



香り咲く城下町萩プロジェクト

去る8月7日、山口福祉文化大学にて観光開発委員会事業「香り咲く城下町萩プロジェクト」大橋マキ講演会「香りの持つチカラとおもてなし」並びに萩イメージアロマ発表会を開催いたしました。講師の大橋マキさんのお話では香りは脳に直接働きかけ、ストレスの緩和やリラックスできる効能から気分を上げてくれる香りもあったりと実際の経験談やデータを交え説明され、その香りを「萩のおもてなし」にどういったかたちで活用していくかと沢山のアイデアをいただきました。講演会場には大橋マキさんのブレンドした萩イメージアロマが香り、連日の猛暑の中いらしていただいた方々に爽やかな気分になっていただけたのではないかと思います。この萩イメージアロマを作っていただくにあたり、大橋マキさんに事前に萩に来ていただき、萩市内を観光し萩のイメージを感じていただきました。その際、大橋マキさんの美しさも去ることながら前向きで真摯なお人柄にふれた委員会メンバーは全員大橋マキさんのファンになってしまい(?) それからの気が遠くなるような夏みかんの製油精製作業、PR用の何千個という入浴剤作りなどの作業も事業成功を信じ、何とか乗り切れました。講演会の後に行われた座談会では香り咲く城下町萩プロジェクト実行委員会が立ち上がり、これからも事業は続いていくことになりました。弘中実行委員長、頑張りましょう!!最後に増山理事長をはじめ、暑い中お力添えしていただいた会員の皆さん、講演会・ワークショップにお越しいただいたOBの方々、大変ありがとうございました。

観光開発委員会 委員 斉藤 恵



香り発信：7月28日(水)～8月3日(火)
萩市内各所

講演会：8月7日(土) 山口福祉文化大学

本年度観光開発委員会の事業の発足について、いろいろな案がでていた中、副委員長の鳥田栄二君の会社に毎年多大な夏みかんの皮が処分されているということから、夏みかんの皮の有効利用、そしてまた萩の代名詞、夏みかんの良さを今一度、市民一体となってPRしていこうという事が出発いたしました。



手始めとして3月末、柑橘試験センターで夏みかんの精油抽出実験に取り組み、5月には花を摘んで花からの精油抽出も試みてみました。しかし精油の採れる量はほんのわずかで、非常に時間のかかる作業でした。そして7月28日から8月3日までを香り発信期間として、市内各所にアロマポットの設置、香り袋の配布等を行い、事業PRをいたしました。

当日は、大橋マキさんの講演会の後、ワークショップを行いました。会員の皆様のご協力によりこられた方が、みんな楽しそうに作業しているのを見て、安心しました。私は、紙すき担当でしたが、エコプラザからお二人のお手伝いを頂いたお陰で、ほとんど見学状態で、途中なぜか大橋マキさんと入浴剤作りをしておりました。お陰でとても良い思い出になりました。当初の動員予定人数には至りませんでしたが、講演していただいた大橋マキさんも非常に喜んで、また事業終了後行われた意見交換会では、この香り発信をここで終わらせるのではなく、これからもっと広めていくために実行委員会が立ち上げられ、現在メーリングリストに18人が登録されています。香り咲く城下町萩プロジェクトは、今回の事業をきっかけとして、これからどんどん膨らんでいきそうな勢いを感じられます。

最後に、ご協力、お手伝いいただきました多くの会員の皆様方、お忙しい中、また暑い中大変ありがとうございました。

観光開発委員会 委員 上田 智幸

